

令和 7 年度 特別支援教育研修会 I 【基礎編】 連絡事項

1 2 日目（オンライン研修）受講に当たっての注意事項

（1）期間

令和 7 年 7 月 2 8 日（月）から令和 7 年 8 月 1 8 日（月）まで

（2）N I S E 学びラボ（国立特別支援教育総合研究所）のログイン I D とパスワードについて、登録いただいたメールアドレスに 7 月 2 1 日（月）までにお知らせします。

なお、メールがお手元に届かなかった場合は、お手数ですが下記担当までお電話をお願いします。

（3）N I S E 学びラボ（国立特別支援教育総合研究所）の視聴について

7 月 2 8 日（月）になりましたら、総合教育センター H P から M ナビオンライン e ラーニングにログインしていただき、B 1 0 0 0 特別支援教育研修会 I（基礎編）のコンテンツを視聴してください。その中に詳細が記載されています。

※ e ラーニングにログインする方法は各学校に配布されている説明書をご覧ください。

例年、N I S E 学びラボにログインできないというご連絡をいただきます。N I S E 学びラボにログインするための初期パスワードは、アンケートで回答いただいた（もしくは受講管理システムに登録した）メールアドレスになります。入力間違いなどにご留意ください。

2 3 日目受講に当たっての注意事項

（1）実施日程について

障害種によって実施日を 2 日に分けています。

1 1 月 1 9 日（水）：知的障害、病弱・身体虚弱、弱視、通級（言語）

1 1 月 2 0 日（木）：自閉症・情緒障害、肢体不自由、難聴、通級（L D 等）

（2）研究協議用レポートの作成について

レポートの作成については、別紙を参照してください。

（3）欠席等の届出

やむを得ない事情により欠席等となる場合は、事前に管理職を通して電話で下記研修会担当指導主事に連絡をした後、所定の欠席届を提出してください。

担 当：宮城県総合教育センター
特別支援教育班 蜂谷
T E L：0 2 2－7 8 4－3 5 6 1

2日目のオンライン研修について

本研修会の2日目は、オンライン研修（eラーニング）での実施となります。
以下の点をご確認ください。

1 受講日 令和7年7月28日（月）～8月18日（月）〈オンデマンド配信〉

※各所属校で使用するPCやネットワーク環境が整った会議室等をご準備いただき、受講してください。

2 視聴する講義【NISE学びラボよりオンデマンド配信】

※担任・担当している障害種毎に講義内容が変わります。以下に示されている内容をご確認ください。

【知的障害】

- ・「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築」（30分9秒）
- ・「知的障害の理解と教育的対応の基本」（24分0秒）
- ・「知的障害教育における教育課程の編成①」（13分52秒）
- ・「知的障害教育における教育課程の編成②」（14分3秒）
- ・「知的障害教育における教育課程の編成③」（8分33秒）
- ・「知的教育における各教科等を合わせた指導①ー各教科等を合わせた指導の考え方」（9分50秒）
- ・「知的教育における各教科等を合わせた指導②ー日常生活の指導、遊びの指導」（8分11秒）
- ・「知的教育における各教科等を合わせた指導③ー生活単元学習、作業学習」（10分38秒）
- ・「知的障害学習における自立活動の指導」（10分49秒）

【自閉症・情緒障害】

- ・「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築」（30分9秒）
- ・「情緒障害教育概論」（21分32秒）
- ・「自閉症教育概論」（24分8秒）
- ・「情緒障害のある児童生徒の指導と対応」（33分34秒）
- ・「自閉症のある児童生徒の自立活動の指導」（29分22秒）

【肢体不自由】

- ・「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築」（30分9秒）
- ・「肢体不自由の定義と障害特性」（9分26秒）
- ・「肢体不自由教育における教育課程」（15分16秒）
- ・「肢体不自由教育の実際その1」（23分13秒）
- ・「肢体不自由教育の実際その2」（19分50秒）
- ・「肢体不自由教育における自立活動の指導」（12分44秒）
- ・「肢体不自由のある子どもへのAAC」（20分17秒）

【病弱・身体虚弱】

- ・「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築」(30分9秒)
- ・「病弱・身体虚弱教育の特性と教育課程」(25分11秒)
- ・「病弱・身体虚弱教育における指導の実態」(23分11秒)
- ・「病弱・身体虚弱教育における情報機器活用の実際」(15分39秒)
- ・「慢性疾患の理解」(25分3秒)

【弱視】

- ・「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築」(30分9秒)
- ・「視覚障害の特性と教育課程」(34分7秒)
- ・「視覚障害教育における自立活動の指導」(24分15秒)
- ・「弱視学級における指導と学習支援」(29分47秒)

【難聴】

- ・「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築」(30分9秒)
- ・「聴覚障害児への教育的支援」(30分30秒)
- ・「聴覚障害教育概論」(37分20秒)
- ・「聴覚障害児の自己理解と教育」(31分9秒)

【通級(言語)】

- ・「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築」(30分9秒)
- ・「通級による指導を担当する皆さんへ『初めて通級による指導を担当する教師のためのガイド』の活用について」(27分1秒)
- ・「言語障害のある児童生徒の理解と指導ー構音障害・吃音障害ー」(40分56秒)
- ・「言語障害のある児童生徒の理解と指導ー言語機能の基礎的事項の発達の遅れや偏りに関する障害ー」(29分29秒)

【通級(LD等)】

- ・「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築」(30分9秒)
- ・「自閉症のある児童生徒の自立活動の指導」(29分22秒)
- ・「通級による指導を担当する皆さんへ『初めて通級による指導を担当する教師のためのガイド』の活用について」(27分1秒)
- ・「発達障害のある児童生徒の通級による指導」(37分4秒)

3 その他

- ・受講者の視聴状況については、リアルタイムで確認できるようになっています。
- ・事後アンケートに回答していただくことで、2日目の受講完了(出席扱い)となります。
- ・やむを得ず、受講できなかった場合は、欠席届を提出していただきます。

3日目研究協議用レポートについて

- ・以下のように作成し提出してください。

令和7年度 特別支援教育研修会Ⅰ〈基礎編〉レポート	
「指導実践上の諸課題（障害種）」	
学校名	職名 氏名
1 はじめに	学校の概要等 ※個人情報は記述しないでください。 障害種を明記する（知的障害、自閉症・情緒障害、肢体不自由、病弱・身体虚弱、弱視、難聴）。
2 指導上の諸課題と考えていること	これ以外に、必要であれば各自で項目を設定してください。
3 これまでの取組	
4 おわりに	

【提出方法】

- (1) A4版1枚にまとめる（両面印刷可）。
余白は上下25mm左右20mmで作成し、PDFファイルに変換してメール添付にて提出する。（ファイル名：【研修会番号_学校名_障害種_氏名】）。
- (2) 提出期限：10月3日（金）17時まで
- (3) 提出先：総合教育センター 特別支援教育班宛て
Eメールアドレス：special-s@edu-c.pref.miyagi.jp

※個人情報等の情報管理に留意してレポートを作成してください。

※提出前に管理職（教頭先生）のチェックを受けてください。

※レポートは各自で印刷（10部）し、当日持参してください。会場でグループ毎製本します。